

No.269

2023年  
2月号

# さくら

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館

〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

## 《 展示のご案内 》

展示期間 2月23日(木)まで

★メイン展示

### 『So cute! -かわいい-』

かわいいものを見るとなんだかわくわくしませんか。最近ではチョコレートも凝った作りのものが多く出回り、見るだけで楽しめますね。いちごも旬を迎えおいしい季節の始まりです。宿毛にはいちご農家さんも増え、新鮮ないちごを堪能できます。猫はそこにいるだけで癒される…。そんなジャンルの違うかわいいを集めた今回の展示は、

- Happy Valentine!
- いちご
- にゃん にゃん にゃん

という3つのコーナーを用意しました。



●メイン展示図書(抜粋)

- 「イチからつくるチョコレート」
- 「10分スイーツ」
- 「おしゃれなラッピングレッスン」
- 「イチゴの絵本」
- 「ルルとララのいちごのデザート」
- 「チョコレート戦争」
- 「図書館司書30人が選んだ猫の本」
- 「ねこのおながえし」

★サブ展示

### 『鬼 ONI』

節分では豆まきをして鬼を追い払いますが、本の中ではどうやら悪い鬼ばかりではなさそうです。こわ〜い鬼もいますが心の優しい鬼もいます。鬼についての伝承や物語を展示していますのでぜひいろいろな鬼を発見してください。



●サブ展示図書(抜粋)

- 「伝承や古典にのこる! 日本の怖い妖怪」「オニたいじ」
- 「今昔百鬼夜行」「空からのぞいた桃太郎」「鬼遊び」
- 「闇にあかく点るのは、鬼の灯か君の瞳。」「夜叉の都」

## 新・蔵書検索ページ



ホームページ上の蔵書検索ページが新しくなりました。今までは文字でしか表示できませんでしたが、今度は表紙画像も表示できるようになりました。見やすくなった蔵書検索で坂本図書館にある本を探してみてください。

# 読んでみませんか？

## -新着図書のご案内-

(一般)

### ある愛の寓話

村山由佳 著  
文藝春秋

恋愛文学の第一人者・村山由佳のデビュー30周年記念作品。

日々薄れていく記憶を、覚えている内にと医師に語る女性。彼女の人生にはいつもカエルのぬいぐるみが側にあった…。(『晴れた空の下』)

ナンタケット・バスケットが語る持ち主への敬愛と愛のかたち。(『グレイ・レディ』)

など、〈人〉と〈人ならざる者〉との交情を描きながら語られる、切なくて泣けて幸せな気持ちになれる珠玉の恋愛小説。

(児童)

### エリザとさくらのものがたり

小手鞠るい 文  
大野八生 絵  
少年写真新聞社

毎年春に咲くさくら。

今から140年くらい前に日本を訪れ、さくらを愛したエリザ・シドモアは、アメリカでも咲かせたいと思い行動します。世界の平和を願い植樹したさくらは、今もアメリカの首都ワシントンDCに咲いています。素敵な夢を実現したお話をぜひ読んでみてください。

(一般)

### 美しい本屋さんの間取り

エクスナレッジ

「小さな本屋さん」の魅力とは？

ふらりと立ち寄りたくなる本屋さんを徹底サーチ！

本の選び方から居心地の良さを考えた間取り・空間のつくり方など、訪れる人の心をつかんで離さない本屋さんの魅力まるわかりの一冊となっています。

本屋さんについて知りたい方、本屋を経営してみたい人におすすめです。

(児童)

### ヤングケアラー

濱島淑恵 監修  
文溪堂

最近メディアでも取り上げられ、よく耳にするようになってきた「ヤングケアラー」。家族の世話や介護、家事などを日常的に行っている子どもたちの負担は大きく、沢山の問題を抱えています。

本書は、「ヤングケアラー」の実情と今後の課題や支援について理解を深めることができる一冊です。

※本の紹介文は、スタッフが作成しています。

静 寂

松澤まり子

一番大切なのは、大きな喜びではありません。小さな喜びから大きな多くのものを得ることこそ大切なのです。おじさん、私は幸福の真の秘訣を発見しました。それは現在に生きることです。いつまでも過去を悔むことなく、また将来を案ずることなく、現在のこの瞬間から得られるだけのものを得るのです。

「あしながおじさん」ジーン・ウェブスター著  
厨川圭子訳（角川文庫）

この文章をいったい何度読んだことだろう。いつ読んでも励まされる。ああ、そうだね、今を生きなきゃな、やっぱりね、と思う。

初めて読んだ中学生から今まで、もう数十年間、折にふれて読みたくなる。手紙を小説にするという書簡体という斬新な手法も素敵だ。この小説がほんとうに好きで、「続あしながおじさん」も幾度となく読んだり、好きな本というのは自分の年代に関係なくいつまでもそばにいる。このお話の中には数々の小説が出てくるというのも魅力だ。幼い頃読んだ時には、この本に出てくる小説を全部読んでみたいと思った。マシュー・アーノルド、ブロンテ姉妹、ロバート・ルイス・ステューブンスンなど。主人公ジューディーが寮の部屋に閉じこもってひたすら本を読む姿がとても好きだった。To you（あなたへ捧ぐ）という献辞にもぐっとくる。

新しく規則を立てました。絶対に守り通しません。それは、決して夜は勉強しないことです。どんなに、おさらいの試験がどっさりあってもよ。そして、勉強の代わりに、ごくやさしい本を読むの——私にはどうしても必要なんですものね。……

（出典同上）

「あしながおじさん」は1912年にアメリカで刊行された。1912年！信じられない。日本では大正元年で、タイタニックが沈んだ年でもある。そのような昔に書かれたものだと信じてたい作者の考え方の斬新さ。まあ、アメリカでも女性参政権はなかったという時代だから彼女の考え方がいかに現在に通じるものかということをお話している。

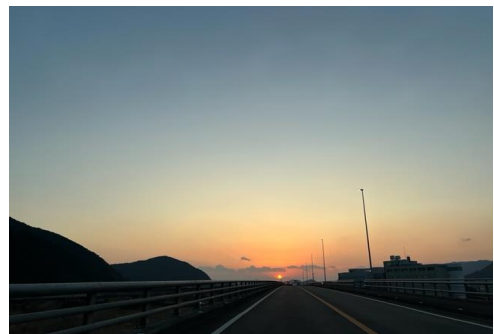
著者ジーン・ウェブスターは本名はアリス・ジェーン・チャンドラー・ウェブスターという。「あしながおじさん」の主人公ジェルーシャが自分で名前を替えたようにアリスさんもジーンと替

えたらしい。才能豊かなジーンは挿絵も自分でペンで描き今でも本に掲載されている。ものすごい想像力だと思う。何より想像の羽を羽ばたかせて楽しんで書いているように思える。1916年に39歳でお亡くなりになっている。とても若すぎる。

好きな本は原書で読みたいというのが英語を勉強した動機の一つだった。大人になってからのことで恥ずかしいが、20代初めの頃、たくさんの素敵なペーパーバックや洋書を目の前にして自分が読めない、ということに大変自分に腹を立てたのだ。怒りは時に原動力になる。他人に迷惑をかける怒りだし……笑。

冬のある夜、しんと雪が降りしきる中（今年は珍しく雪がたくさん積まりましたね）静寂に包まれて自分に還る時間がやってくる。中学生の頃、コタツに入って勉強をするふりをして本を読んだりしたことを思い出す。コタツ布団の中は恰好の本や漫画の便利な隠し場所だった。本を読みながらよく寝てしまった。笑。世間は色々騒がしいけれど自分のところの中は静寂で満ち、豊かな気持ちになる時間。本というのはわたしにとってそばになくてはならないものだ。窓の外のはらはらと舞って降ってくる雪を眺めながらそんなことを考えた。

ジーン・ウェブスターの作品は著作権がきれているので調べるとウェブで著作が全部読むことができるので日本語に翻訳されていない彼女の本をかたっぱしから読んでみようかと思う。このようにネットで読むこともできるけれど、やはり夢中になって読んだ、紙をめくる感触は失われてほしくない。



夕景

## ～新着図書のご紹介～

### 一般図書



- |   |                           |              |
|---|---------------------------|--------------|
| 0 | 「図書館ウォーカー」                | オラシオ         |
| 0 | 「美しい本屋さんの間取り」             |              |
| 1 | 「1位思考」                    | 猿渡歩          |
| 2 | 「中国青銅器入門」                 | 山本堯          |
| 3 | 「フリーランスがインボイスで損をしない本」     | 原尚美          |
| 3 | 「否定しない習慣」                 | 林健太郎         |
| 3 | 「だれが校則を決めるのか」             | 内田良          |
| 4 | 「魔法の計算あそび」                | 杉之原眞貴        |
| 4 | 「医師が教える子どもの食事50の基本」       | 伊藤明子         |
| 5 | 「新しい収納の教科書」               | 赤工友里         |
| 6 | 『日本マクドナルド「挑戦と変革」の経営』      | 日本マクドナルド株式会社 |
| 6 | 「鉄道きっぷ探究読本」               | 後藤茂文         |
| 7 | 「色鉛筆で描く小さくておしゃれな暮らしのモチーフ」 | シン・ウニョン      |
| 7 | 「磯釣り伝説」                   |              |
| 9 | 「古典モノ語り」                  | 山本淳子         |
| 9 | 「幸福とは何ぞや」                 | 佐藤愛子         |
| 9 | 「青いパステル画の男」               | アントワーヌ・ローラン  |
| 9 | 「江戸一新」                    | 門井慶喜         |
| 9 | 「名探偵外来」                   | 似鳥鶏          |
| 9 | 「ある愛の寓話」                  | 村山由佳         |

※左側の数字は図書の分類を表しています。  
 0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学  
 5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

### 児童図書



- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 「地域の発展につくした先人大事典」     | 柴田好章            |
| 「ヤングケアラー」             | 濱島淑恵            |
| 「ネズミなんびきでゾウになる？」      | トレイシー・ターナー      |
| 「めんはすごい！」             | 柴田書店            |
| 『小学生のための「日本の名画」がわかる本』 | 「日本の名画がわかる本」編集室 |
| 「バッハ」                 | 新井陽子            |
| 「モンスター・ホテルでうたいましょう」   | 柏葉幸子            |
| 「こえてくる者たち」            | 斉藤洋             |
| 「あやし、おそろし、天獄園」        | 廣嶋玲子            |

### 絵本



- |                 |           |
|-----------------|-----------|
| 「オニとワニ」         | ねじめ正一     |
| 「エリザとさくらのものがたり」 | 小手鞠るい     |
| 「フライパンヤア」       | 加藤休ミ      |
| 「のり」            | 佐武絵里子     |
| 「さんぽにいったバナナ」    | すずきけんじ    |
| 「わたしがあんであげる」    | せなけいこ     |
| 「まよなかのゆうえんち」    | ギデオン・ステラー |
| 「あいに、きたよ。」      | たかはらりょう   |
| 「もちどろぼうとおまわりさん」 | へんみあやか    |
| 「十四歳日和」         | 水野瑠見      |

★このほかにもたくさんの図書が入っております。  
 図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、  
 そちらもぜひご覧ください。

### 2月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

### 3月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日・祝 10:00～18:00  
 ホームページ <https://www.city.sukumo.kochi.jp/docs-25/p010805.html>  
 メールアドレス [tosyo@city.sukumo.lg.jp](mailto:tosyo@city.sukumo.lg.jp)

■は休館日



【図書館HP】

